

釜山方言の外来語のアクセント・パターンを決めるもの：

## 分節音の情報と音節構造

全 鎬環  
(九州大学大学院)

キーワード：外来語、アクセント・パターン、音節構造、分節音の情報

### 1. はじめに

朝鮮語の方言は、大きくアクセント<sup>1</sup>の対立を持つ方言と持たない方言に分けられる。前者の方言は、慶尚道、咸鏡道、そして全羅道の一部の地域で見られる。本論文では、慶尚南道に属する釜山方言の外来語のアクセント・パターンについて、どのような要因がそれを決定するのかを明らかにすることを目的とする。まず、先行研究として、Kenstowicz & Sohn (2001) (以下、K & S (2001) とする) を紹介する。K & S (2001) は、地理的に近い慶尚北道方言 (以下「慶北方言」と表記する) の外来語のアクセント・パターンについて、音節構造がほぼアクセント・パターンを決めると主張している。本論文では、K & S (2001) による慶北方言のアクセント・パターンの分析にならって釜山方言の外来語を分析し、音節構造のみならず分節音の情報もアクセント・パターンの決定に関わることを示す。

### 2. 先行研究

この節では、K & S (2001) に基づいて、釜山と地理的に近い慶北方言において、固有語と外来語のアクセント・パターンがどのようになっているかを紹介する。

#### 2.1. 慶北方言の固有語のアクセント・パターン

(1) に慶北方言の固有語のアクセント・パターンを示す。

---

<sup>1</sup> ここで言う「アクセント」は、「単語のどこにピッチの変化があるか」という意味でも、また「単語 (或いは文節) 全体がどのピッチパターンになるか」という意味でも用いる。

(1) 固有語のアクセント・パターン

a. Double : 初頭の 2 音節だけが低い。

例) cá.kí<sup>2</sup> <自分>、sá:lám <人>、kó:kú.ma <さつま芋>

b. Single : どこか 1 音節だけが低い。

例) tók.su.li <鷺>、pi.túl.ki <鳩>、sa.ta.lí <はしご>

固有語は、心的辞書にアクセントが指定されている必要がある。(2) に例を示す。(1b) の Single は、アクセントがどこにあるかによって、(2) に示しているように Penultimate、Final、Initial に分けられる。

(2) 慶北方言における固有語のアクセント・パターン

パターン		1 音節	2 音節	3 音節
Double		mú.lí <水が>	cá.kí <自分> sá:lám <人>	mú.cí.ke <虹> kó:kú.ma <さつま芋>
	Penultimate		Má.níl <にんにく>	pi.túl.ki <鳩>
Single	Final	sú.l-i <酒-が>	na.múl <山菜>	sa.ta.lí <はしご>
	Initial			tók.su.li <鷺>

2.2. 慶北方言の外来語のアクセント・パターン

固有語に 4 つのパターンが現れるのに対して、外来語には、(3) のように 3 つのパターンが現れる。

(3) 外来語のアクセント・パターン

a. Double (HH...) : 初頭の 2 音節だけが低い。

b. Final (...H) : 最終音節だけが低い。

c. Penultimate (...HL) : 後ろから 2 番目の音節だけが低い。

K & S (2001: 243, ll.21-23)

K & S (2001) は、(4) のように、音節の重さによってアクセント・パターンを予測できるとしている。

<sup>2</sup> 音節境界 (.) は、全による。その他、K & S (2001) が /r/ と /l/ を表記し分けているものを /l/ だけにするなど、全の表記に一部改めた。

- (4) 外来語のアクセント・パターンを決めるもの (K & S 2001:243 (3))
- 初頭音節が重音節<sup>3</sup>であれば、Double になる。
  - a 以外の場合で、最終音節が重音節であれば、Final になる。
  - a と b 以外の場合は Penultimate になる。

音節構造によってどのようにアクセント・パターンが実現されるかを(5)に示す。

(5) 慶北方言における外来語のアクセント・パターン

パターン	単語の音節構造	2 音節		3 音節	
Double	CV: 始まり	ó.thó	‘auto’	pí.nó.sí	‘Venus’
	CVC 始まり	lón.tán	‘London’	syám.phé.in	‘champagne’
		khép.thín	‘captain’	ín.thé.net	‘internet’
Final	CVC 終わり	che.nól	‘channel’	pi.la.cíl	‘Brazil’
		khe.cháp	‘ketchup’	khe.pi.nét	‘cabinet’
Penultimate	CV 終わり	kí.tha	‘guitar’	o.lén.ci	‘orange’

ただし、音節構造を仮定するに当たって、次のような分節音の情報を考慮する必要がある。

- (6) a. /l<sub>1</sub>.l<sub>2</sub>/ の /l<sub>1</sub><sup>h</sup>/ は、それが属する音節を重音節にしない。  
 例) phíl.le.i (play) は、(4a) により、phíl.lé.i になるはずであるが、実際は phíl.lé.i になる。
- b. 挿入母音 /i/ には高いピッチが付与されない。  
 例) tho.sí.tí (toast) は、(4c) により、tho.sí.thí になるはずであるが、実際は thó.sí.thí になる。

以上の先行研究から、慶北方言の外来語は、音節構造によってアクセント・パターンが決まることが分かる。

<sup>3</sup> 重音節とは、.(C)VC. か .(C)V:(C). という音節構造をいう。

<sup>4</sup> 借用元の英語の母音間の /l/ ( pl などの子音連続で母音が挿入された場合も含む) は、対応する朝鮮語では /...Vl<sub>1</sub>.l<sub>2</sub>V.../ のように音節境界を跨いだ 2 つの /l/ で現れる。以下 /l<sub>1</sub>.l<sub>2</sub>/ の /l<sub>1</sub>/ とは、この /l<sub>1</sub>/ を指す。

### 3. 釜山方言の外来語のアクセント・パターン

この節では、K & S (2001) に基づいて釜山方言の外来語のアクセント・パターンについて論じる。以下のデータは、全て筆者<sup>5</sup>の内省に基づいている。

#### 3.1. 釜山方言の固有語のアクセント・パターン

外来語について論じる前に、釜山方言の固有語のアクセント・パターンを (7) に示す。固有語のアクセント・パターンは、(7) のように、音節数が増えるとその数が増える。ここではこれらのパターンの基底形については論じないが、いずれにせよ、心的辞書に何らかのアクセント情報が指定されていなければならない。

(7) 釜山方言の固有語のアクセント・パターン (-e.-nin は助詞連続<に-は>)

パターン	1 音節	2 音節	3 音節	4 音節
A	tá.m-é.-nin <垣>	Ká.cí.-e.-nin <枝>	mú.cí.ke.-e.-nin <虹>	sí.ǒ.mə.ni.-e.-nin <姑>
B	i.l-é.-nin <仕事>	Ka.cí.-é.-nin <ナス>		
C		achí.m-e.-nin <朝>	cin.tí.kí.-e.-nin <sup>6</sup> <ダニ>	mul.kú.ná.mú.-e.-nin <逆立ち>
D	sú.l-e.-nin <酒>	á.tí.l-e.-nin <息子>	so.ná.ki.-e.-nin <にわか雨>	he.pá.lá.ki.-e.-nin <sup>7</sup> <ひまわり>
E			á.ci.me.-e.-nin <おばさん>	mí.sus.ka.lu.-e.-nin <粉の一種>
F				yøn.nál.li.ki.-e.-nin <凧揚げ>

#### 3.2. 釜山方言の外来語のアクセント・パターン

(8) に筆者が調査した外来語 610 語について、アクセント・パターンと個数を示す。

<sup>5</sup> 1974 年生まれ、釜山市の生え抜き。

<sup>6</sup> パターン B の可能性もあり得るが、このパターンは外来語のアクセント・パターンの体系では、パターン C に含まれるため、暫定的にパターン C にしておく。

<sup>7</sup> 注 6 と同様にパターン B の可能性もあり得るが、暫定的にパターン D にしておく。

(8) 調査語彙<sup>8</sup>

	1 音節語	2 音節語	3 音節語 <sup>5</sup>	4 音節語	5 音節語
A		HH 77	HHL 46	HHLL 16	HHLLL 6
C		LH 54	LHH 74	LHHH 24	LHHHH 3
D	H 24	HL 95	LHL 103	LHHL 62	LHHHL 26
計610	24	226	223	102	35

(9) 釜山方言の外来語のアクセント・パターン<sup>9</sup>

- パターン A (HH...) : 初頭の 2 音節だけが高い (慶北方言の Double に対応する)。
- パターン C (...H) : 最終音節が高い (慶北方言の Final に対応する)。
- パターン D (...HL) : 後ろから 2 音節目が高く、最終音節が低い (慶北方言の Penultimate に対応する)。

以下に、例を示す。外来語のアクセント・パターンは、(10) のように 3 つのパターンで現れる。

## (10) 外来語のアクセント・パターンの例 (-i/ka は主格助詞 &lt;が&gt; )

パターン	1 音節	2 音節	3 音節	4 音節	5 音節
A		ín.thón-i 'intern'	khém.phó.si-ka 'campus'	khón.khí.li.thi-ka 'concrete'	ín.thó.ne.syə.nəl-i 'international'
C		ke.ím-i 'game'	si.sí.thém-i 'system'	phi.ló.kí.lém-i 'program'	a.í.sí.khí.lím-i 'ice cream'
D	thíp-i 'tip'	ká.si-ka 'gas'	li.phó.thi-ka 'report'	i.thál.lí.a-ka 'Italy'	i.té.ól.ló.ki-ka 'ideology'

以下では外来語がどのパターンで実現するかは、音節構造と分節音に関する情報から予測できることを示す。

<sup>8</sup> パターン A 及びパターン C のように H で終わる語に助詞を付けた場合、語末の H の後は L になる。

例) ín.thó.n-i <intern が>、i.lá.n-i <Iran が>、si.sí.thé.m-i <system が>

<sup>9</sup> 3 音節語に関しては、パターン E (HLL) が見られる。しかし、その数は少なく、その一部は、the.si.thi 'test' のように、語末の 2 音節に母音 /i/ が挿入されている単語であるため、ここでは例外として扱う。注 12 を参照。

### 3.2.1. 1 音節語

パターン D (H) しか現れない。

(11) cék	‘jack’	lúl	‘rule’	phín	‘pin’	
	hóm	‘home’	pél	‘bell’	phíl	‘feel’
	hól	‘hall’	pín	‘Wien’	syó	‘show’
	khén	‘can’	pól	‘ball’	thí	‘tea’
	khí	‘key’	phén	‘fan’	thék	‘tag’
	khól	‘call’	phék	‘pack’	thím	‘team’
	lúm	‘room’	phól	‘pearl’	thíp	‘tip’
	lém	‘ram’	phíl	‘feel’	thón	‘ton’

### 3.2.2. 2 音節語

パターン A (HH)、パターン C (LH)、パターン D (HL) の3つのパターンが現れる。2音節語において、どのようにアクセント・パターンが決まるかを(12)に示す。なお、次のように音節構造を示す。○：軽音節、●：重音節<sup>10</sup>、◎：軽重どちらか。

#### (12) 2音節外来語のアクセント・パターンを決める要因

- a. 最終音節が重音節であり(すなわち◎●)かつ、以下の条件 (i-iii) のいずれかに該当するならば、パターン A (HH) になる。以下の条件 (i-iii) 以外の○●の場合、パターン C (LH) になる。
  - i. 初頭音節が重音節の場合、すなわち●●の場合。
  - ii. 最終音節が /-in/, /-il/ で終わる ○● の場合
  - iii. 初頭音節が帯気子音で始まる ○● の場合<sup>11</sup>
- b. 最終音節が軽音節ならば(すなわち◎○ならば) パターン D (HL) になる。

以下、(12) の一般化がどのように2音節外来語に当てはまるかを説明する。

<sup>10</sup> 重音節とは、.(C)VC. という音節構造をいう。

<sup>11</sup> 朝鮮語において、初頭音節の帯気音と喉頭緊張音が高いピッチを引きつけるということについては、Kim (1969)を初めとする多くの研究がある。このような現象は、釜山方言の固有語でも観察される。

2 音節語の最終音節が重音節か軽音節かによってパターンが大きく分かれる。最終音節が重音節の場合 (すなわち◎●の場合) は、パターン A かパターン C になり、軽音節の場合 (すなわち◎○の場合) は、パターン D になる。

まず、最終音節が重音節の場合 (すなわち◎●の場合)、例えば、(13a)の in.thən ‘intern’ のように、初頭音節も重音節なら (すなわち●●なら)、(12a-i) により パターン A (ín.thón) になる。また、語の初頭音節が軽音節の場合 (すなわち○●の場合) でも、初頭音節が帯気子音で始まるか、最終音節が /-in/, /-il/ で終わる場合は、(12a-ii) (12a-iii) によりパターン A になる。例えば、(13a) の ché.nál ‘channel’, mó.níj ‘morning’, lí.thíl ‘little’ などの場合である。上記以外の○●の場合は、パターン C になる。例えば、(13b) の i.lán ‘Iran’, ke.ím ‘game’ のような例が挙げられる。

次に、軽音節で終わる場合 (すなわち◎○の場合) は、初頭音節の構造に関係なく全て パターン D (HL) になる。(13c) の mém.pə ‘member’, mé.nə ‘manner’ などの例が挙げられる。ただし、 $\Pi_1, \Pi_2$  の  $\Pi_1$ 、及び挿入母音 /i/ の扱いは、(6) の慶北方言の場合と類似している<sup>12</sup>。例えば、(13b) の al.lám ‘alarm’ の場合、(12a-i) により、ál.lám を予測するが、(6) のように、 $\Pi_1, \Pi_2$  の  $\Pi_1$  は、それが属する音節を重音節としないため、al.lám として実現される。挿入母音 /i/ に関しても、(13c) の si.tha ‘star’ は、(12b) により、sí.tha を予測する。しかし、(6b) のように、挿入母音 /i/ には高いピッチの付与が避けられるため、si.thá として実現される。以下に 2 音節語の例を示す。なお、(12) の一般化で説明できない語を例外として挙げる。その際、(12)によって予測される形を括弧内に示す。

---

<sup>12</sup> 挿入母音の /i/ の扱いは、2 音節語の場合と 3 音節語の場合で異なる。

a. 2 音節語の場合

- i. coda の子音を伴わない挿入母音 (.Ci) には高いピッチが付与されない。

例) si.thín ‘sting’, thi.lép ‘trap’, si.thá ‘star’

- ii. coda の子音を伴う挿入母音 (.CiC) には H が付与される。

例) sá.khíl ‘circle’, sén.tíl ‘sandal’

b. 3 音節語の場合

- i. coda の子音を伴わない挿入母音 (.Ci) にも、coda の子音を伴う挿入母音 (.CiC) にも高いピッチが付与される。

例) wál.fí.khəp ‘World Cup’, pha.sí.thél ‘pastel’, ma.fí.khi ‘Mark’, me.í.phíl ‘maple’, me.tíl.li ‘medley’

- ii. 借用元の英語の -st, -ft という子音連結の間に入る挿入母音には高いピッチが付与されない。例) khó.si.thi ‘cost’, lí.phi.thi ‘lift’

(13) パターン A (HH)

a. (12a-i) に該当する例

ék.sýən	‘action’	pál.khán	‘Balkan’
én.cín	‘engine’	pán.khók	‘Bangkok’
éη.khól	‘encore’	píl.tíη	‘building’
hóη.khónη	‘Hong Kong’	pók.síη	‘boxing’
ín.thón	‘intern’	pháp.khón	‘popcorn’
kól.ín	‘goal in’	phén.síl	‘pencil’
khál.lóm	‘column’	phén.síη	‘fencing’
khém.phíη	‘camping’	phén.syón	‘pension’
khén.tíl	‘candle’	phéη.kwín	‘penguin’
khám.pék	‘comeback’	phík.syón	‘fiction’
lónη.lón	‘long-run’	sím.phíl	‘simple’
léη.khíη	‘ranking’	sém.phíl	‘sample’
lón.tón	‘London’	síη.kíl	‘single’
mén.syón	‘mansion’	syán.sónη	‘chanson’
mónη.kól	‘Mongolia’		

b. (12a-ii) に該当する例

hé.tíη	‘heading’	wé.tíη	‘wedding’
khó.thíη <sup>13</sup>	‘cutting’	wó.khíη	‘walking’
lí.píη	‘living’	hwí.síl	‘whistle’
mí.thíη	‘meeting’	í.kíl	‘eagle’
mó.níη	‘morning’	khé.síl <sup>13</sup>	‘castle’
phí.thíη <sup>13</sup>	‘fitting’	lí.thíl	‘little’
sé.thíη	‘setting’	mí.tíl	‘middle’
syó.phíη	‘shopping’	pí.thíl	‘Beetle’
syú.thíη	‘shooting’	phó.cíl <sup>13</sup>	‘puzzle’
tó.phíη	‘doping’	sá.khíl	‘circle’
tá.píη	‘dubbing’	syó.thíl	‘shuttle’
thó.phíη <sup>13</sup>	‘topping’	tó.píl	‘double’

<sup>13</sup> (12a-iii)でも説明できる例である。



c. (12a-iii) に該当する例

ché.nól	‘channel’	thó.thól	‘total’
chí.khín	‘chicken’	thó.ík	‘TOEIC’
khé.nón	‘Cannon’	thó.phíl	‘TOEFL’
khó.mík	‘comic’	thó.phík	‘topic’
khó.nyák	‘cognac’	thyúl.líp	‘tulip’
khó.ték	‘codec’	thó.nól	‘tunnel’
khú.syón	‘cushion’	phé.thón	‘pattern’
khú.phón	‘coupon’	phé.syón	‘fashion’
khwé.pék	‘Quebec’	phé.nól	‘panel’
khó.thín	‘cutting’		

\* 例外

hín.tú (\*hín.tu) ‘Hindu’, khó.phí ‘coffee’, lé.sín (\*le.sín) ‘lesson’, lí.ól (\*li.ól) ‘real’, nyú.thón (\*nyu.thón) ‘Newton’, nyú..yók (\*nyu.yók) ‘New York’

b. パターン C (LH)

a.láp	‘Arab’	me.tál	‘medal’
al.lám	‘alarm’	me.lón	‘melon’
e.tén	‘Eden’	me.cík	‘magic’
ho.thél	‘hotel’	mo.tém	‘modem’
i.lán	‘Iran’	mo.tél	‘model’
ke.ím	‘game’	mo.thél	‘motel’
kì.lúp	‘group’	na.íl	‘Nile’
kì.lín	‘green’	no.pél	‘Nobel’
khìl.lép	‘club’	o.íl	‘oil’
khìl.líp	‘clip’	pə.thín	‘button’
la.pél	‘label’	pi.níl	‘vinyl’
la.ín	‘line’	pol.lín	‘bowling’
la.thín	‘Latin’	phìl.lén	‘plan’
le.pél	‘level’	sa.ín	‘sign’
le.íl	‘rail’	sal.lón	‘salon’
lo.yól	‘royal’	se.íl	‘sale’
lo.khés	‘rocket’	sì.nék	‘snack’
ma.tám	‘madame’	sì.thíl	‘steal’

si.thík	‘stick’	thi.khés	‘ticket’
si.phém	‘spam’	thi.pés	‘Tibet’
si.lím	‘slim’	thi.líp	‘trip’
si.thá	‘star’	thi.lép	‘trap’
si.khí	‘ski’	yu.lép	‘Europe’

\* 例外

al.khól (\*ál.khól) ‘alcohol’, el.póm (\*él.póm) ‘album’, pol.phén (\*pól.phén) ‘ball pen’, ki.thá (\*kí.tha) ‘guitar’, khal.lyúm (\*khál.lyúm) ‘kalium’, nep.khín (\*nép.khín) ‘napkin’, pal.lé (\*pál.le) ‘ballet’, te.pwí (\*té.pwi.) ‘debut’

c. パターン D (HL)

á.thi	‘art’	khó.si	‘course’
ál.pha	‘alpha’	khó.ti	‘code’
é.ə	‘air’	khó.thi	‘coat’
én.thə	‘enter’	khóm.pi	‘combination’
cí.phi	‘jeep’	khón.thi	‘conte’
cé.ci	‘jazz’	khwí.ci	‘quiz’
cóm.phə	‘jumper’	lé.cə	‘leisure’
chán.si	‘chance’	lé.ti	‘red’
chél.lo	‘cello’	lém.phi	‘lamp’
chí.ci	‘cheese’	léŋ.khi	‘rank’
chíl.li	‘chili’	lí.si	‘lease’
chíl.le	‘chile’	lí.tə	‘leader’
há.phi	‘harp’	lő.si	‘rush’
hó.pi	‘herb’	lő.pi	‘love’
ká.si	‘gas’	lő.pi	‘lobby’
kól.phi	‘golf’	lő.ma	‘Rome’
khá.ti	‘card’	lú.thi	‘root’
khé.ti	‘CAD’	lú.mə	‘rumor’
khém.phi	‘camp’	mé.kha	‘Mecca’
khí.si	‘kiss’	mé.nə	‘manner’
khí.ti	‘kid’	mém.pə	‘member’
khó.nə	‘corner’	mí.si	‘Miss’
khó.chi	‘coach’	míl.khi	‘milk’

mú.tì	‘mood’	sé.thì	‘set’
nó.thì	‘note’	sén.thə	‘center’
nú.tì	‘nude’	sén.thì	‘cent’
nám.pə	‘number’	sél.phì	‘self’
nyú.sì	‘news’	síl.khì	‘silk’
pál.li	‘Bally’	sín.ə	‘singer’
pák.sì	‘box’	syám.phu	‘shampoo’
pén.chì	‘bench’	syó.khì	‘shock’
pél.thì	‘belt’	syú.phə	‘super’
pén.tì	‘band’	tál.lə	‘dollar’
pə.sì	‘bus’	tén.sì	‘dance’
pó.thì	‘boat’	tám.phì	‘dump’
pó.sì	‘boss’	thé.lə	‘terror’
pól.thì	‘volt’	thé.ma	‘thema’
pón.tì	‘bond’	thé.nə	‘tenor’
phá.khì	‘park’	thén.thì	‘tent’
phá.li	‘Paris’	thém.pho	‘tempo’
phí.lo	‘profession’	théŋ.khì	‘tank’
phék.sì	‘fax’	thó.khì	‘Turkey’
phól.phì	‘pulp’	wí.khì	‘week’
phón.chì	‘punch’	wól.tì	‘world’
phóŋ.khì	‘punk’	yú.cə	‘user’
phón.tì	‘fund’	yó.thì	‘yacht’
phóŋ.khì	‘punk’		
* 例外			
sí.cìn (*si.cìn) ‘season’, thí.lək (*thì.lók) ‘truck’			

### 3.2.3. 3 音節以上の外来語

パターン A (HHL)、パターン C (LHH)、パターン D (LHL) の3つのパターンが現れる。3 音節以上の外来語において、どのようにアクセント・パターンが決まるかを (14) に示す。

(14) 3 音節以上の外来語のアクセント・パターンを決める要因

- a. 初頭音節が重音節ならば (すなわち●◎◎ならば)、パターン A (HHL) になる。

- b. 初頭音節が軽音節で、かつ最終音節が重音節ならば (すなわち○◎●ならば)、パターン C (LHH) になる。
- c. a, b 以外の場合、つまり初頭音節が軽音節で、かつ最終音節も軽音節ならば (すなわち○◎○ならば)、パターン D (LHL) になる。

以下に、(14) の一般化が 3 音節以上の語にどのように当てはまるか、3 音節語を例に挙げて説明する。

まず、(15a) の in.thə.pyu ‘interview’ のように初頭音節が重音節の場合、(14a) によって、パターン A (ín.thə.pyu) になる。

次に、(15b) の si.sí.them ‘system’ のように、初頭音節が軽音節であり、かつ最終音節が重音節の場合は、(14b) によってパターン C (si.sí.thém) になる。

最後に、(15c) の o.phe.la ‘opera’ のように、初頭音節が軽音節であり、かつ、最終音節も軽音節の場合は、(14c) によってパターン D (o.phé.la) になる。ただし、 $/l_1.l_2/$  の  $/l_1/$  の扱いは、2 音節語と同様である。挿入母音  $/i/$  の扱いについては、2 音節語とほぼ同じである (細部は若干異なる。これについては注 12 で述べた)。例えば、(15c) の mel.lo.ti ‘melody’ の場合、(14a) により mé.l.ló.ti を予測するが、(6) のように、 $/l_1.l_2/$  の  $/l_1/$  は、それが属する音節を重音節にしないため、mel.ló.ti として実現される。挿入母音  $/i/$  に関しても、kho.si.thi ‘cost’ は、(14c) により、kho.sí.thi を予測する。しかし、(6b) のように挿入母音  $/i/$  には高いピッチの付与が避けられるため、khó.si.thi として実現される。以下に 3、4、5 音節の語の例を示す。なお、(14) の一般化で説明できない語を例外として挙げる。

### (15) 3 音節語の例

#### a. パターン A (HHL)

án.tán.the	‘andante’	hén.tíl.liŋ	‘handling’
án.thé.na	‘antenna’	hóm.syó.phiŋ	‘home shopping’
áj.khó.li	‘encore’	hóŋ.ká.li	‘Hungary’
áj.sán.píl	‘ensemble’	ím.phék.thi	‘impact’
cíŋ.khî.si	‘jinx’	ín.phíl.le	‘inflation’
chém.phí.ən	‘champion’	ín.tí.a	‘India’
és.sén.si	‘essence’	ín.tí.ən	‘Indian’
és.sé.i	‘essay’	ín.thó.nes	‘internet’
én.thí.li	‘entry’	ín.thó.pəl	‘interval’
hém.pó.kə	‘hamburger’	ín.thó.pyu	‘interview’

kól.khí.phə	‘goalkeeper’	mól.tí.pì	‘Maldives’
khák.thé.il	‘cocktail’	pél.kí.e	‘Belgium’
khél.kó.li	‘Calgary’	péŋ .khú.pə	‘Vancouver’
khém.phó.sì	‘campus’	píl.pó.tì	‘billboard’
khém.phé.in	‘campaign’	póm.pé.i	‘Bombay’
khén.thó.khi	‘Kentucky’	phám.phíl.les	‘pamphlet’
khéŋ.kó.lu	‘kangaroo’	phén.thí.əm	‘pentium’
khón.thí.li	‘country’	phín.lán.tì	‘Finland’
khóm.phyú.thə	‘computer’	sím.phó.ni	‘symphony’
khón.pén.syən	‘convention’	tén.má.khi	‘Denmark’
khóm.phék.thi	‘compact’	wén.tí.ci	‘Wendy's’
khón.khú.lì	‘concours’	wón.phí.sì	‘one-piece’
mén.thú.men	‘man-to-man’	wól.tí.khəp	‘World Cup’

b. パターン C (LHH)

al.lá.tín	‘Aladdin’	le.mí.khón	‘remicon’
a.má.cón	‘Amazon’	le.pá.nón	‘Lebanon’
ca.sí.mín	‘jasmine’	le.síl.líŋ	‘wrestling’
cho.khó.lés	‘chocolate’	li.mó.khón	‘remote control’
e.thí.khés	‘etiquette’	ma.lá.thón	‘marathon’
he.tí.phón	‘headphone’	ma.né.khíŋ	‘mannequin’
ha.í.khíŋ	‘hiking’	me.sí.khóm	‘mass media’
i.ó.phón	‘earphone’	me.thán.ól	‘methanol’
i.síl.lám	‘Islam’	myu.cí.khól	‘musical’
kha.ló.thín	‘carotin’	ne.chú.lól	‘natural’
ka.sí.phél	‘gospel’	ni.khó.thín	‘nicotine’
ke.kí.mén	‘gagman’	o.tí.syən	‘audition’
kha.lá.mél	‘caramel’	o.phí.níŋ	‘opening’
kha.mé.lún	‘Cameroon’	pa.í.khíŋ	‘Viking’
khe.í.píl	‘cable’	pa.í.píl	‘bible’
khe.pí.nés	‘cabinet’	pa.lé.ín	‘Bahrain’
kho.khá.ín	‘cocain’	pa.lí.thón	‘baritone’
kho.khó.nés	‘coconut’	pe.thé.láŋ	‘veteran’
khìl.lín.ép	‘cleanup’	pe.thí.nám	‘Vietnam’
le.í.ón	‘rayon’	pe.í.khón	‘bacon’

pi.lá.cíl	‘Brazil’	si.khén.tíl	‘scandal’
pi.lá.ún	‘brown’	si.phé.ín	‘Spain’
pi.lwí.sél	‘Brussel’	ta.í.ól	‘dial’
pha.sí.cím	‘fascism’	ti.cá.ín	‘disign’
phe.ín.thíj	‘painting’	ti.cí.thól	‘digital’
phil.lí.phín	‘Philippines’	ti.sí.khés	‘ticket’
phi.khí.ník	‘picnic’	ti.thé.íl	‘detail’
phi.lí.cím	‘prism’	tha.í.thíl	‘title’
phi.ló.phíl	‘profile’	tha.í.míj	‘timing’
phi.nóm.phén	‘Phnom Penh’	tha.í.phíj	‘typing’
sa.í.khíl	‘cycle’	the.khí.ník	‘technique’
sa.í.phán	‘Saipan’	u.lá.nyúm	‘uranium’
se.né.kál	‘Senegal’	wə.síj.thón	‘Washington’
sil.lí.khón	‘silicon’	wə.khí.syóp	‘workshop’
si.sí.thém	‘system’	yo.lí.tán	‘Jordan’
si.wé.tén	‘Sweden’		

\* 例外

pa.ná.ná (\*pa.ná.na) ‘banana’, sek.sí.phón (\*sék.sí.phon) ‘saxophone’,  
sin.tí.lóm (\*sín.tí.lom) ‘syndrome’

c. パターン D (LHL)

a.sí.a	‘Asia’	ki.lí.si	‘Greece’
a.phá.thi	‘apartment’	ki.lé.phi	‘graph’
cha.í.na	‘china’	ki.lén.ti	‘grand’
e.í.ci	‘AIDS’	kha.í.lo	‘Cairo’
e.nó.ci	‘energy’	kha.lí.pi	‘Caribbean’
ha.mó.ni	‘harmony’	kha.mé.la	‘camera’
ha.wá.i	‘Hawaii’	kha.cí.no	‘casino’
i.lá.khi	‘Iraq’	khe.í.si	‘case’
i.cíp.thi	‘Egypt’	khe.í.khi	‘cake’
i.mí.ci	‘image’	khe.ná.ta	‘Canada’
i.pén.thi	‘event’	kho.khó.a	‘cocoa’
ka.í.ti	‘guide’	kho.mén.thi	‘comment’
ke.líl.la	‘guerrilla’	khol.lé.la	‘cholera’
ke.lón.thi	‘guaranty’	la.í.si	‘rice’

la.ó.si	‘Laos’	phil.lén.thi	‘plant’
la.tí.o	‘radio’	phil.lú.thi	‘flute’
le.í.si	‘lace’	phil.ló.si	‘plus’
lə.sí.a	‘Russia’	sa.ú.na	‘sauna’
li.phó.thi	‘report’	sa.ún.ti	‘sound’
li.wán.ta	‘Rwanda’	sel.ló.ti	‘salad’
lo.thó.li	‘rotary’	se.mí.na	‘seminar’
lo.yə́l.thi	‘royalty’	sə.pí.si	‘service’
lol.lék.si	‘Rolex’	si.é.thə	‘theater’
ma.níl.la	‘Manila’	si.lí.ci	‘series’
me.í.khə	‘maker’	si.lí.a	‘Syria’
me.sé.ci	‘message’	si.mén.thi	‘cement’
mel.ló.ti	‘melody’	si.né.ma	‘cinema’
mi.í.la	‘mummy’	si.nó.ci	‘synergy’
mi.yán.ma	‘Myanmar’	si.khá.phi	‘scarf’
nwi.án.si	‘nuance’	si.khá.i	‘sky’
o.phé.la	‘opera’	si.líl.lə	‘thriller’
o.lén.ci	‘orange’	si.khó.thi	‘skirt’
pa.khán.si	‘vacance’	si.phí.khə	‘speaker’
pe.í.si	‘base’	si.phó.chi	‘sports’
pi.khí.ni	‘bikini’	si.thó.li	‘story’
pi.nó.si	‘Venus’	si.thó.ə	‘store’
pi.tí.o	‘video’	si.thén.ti	‘stand’
pi.lén.ti	‘brand’	si.wí.si	‘Swiss’
pi.ló.khə	‘broker’	sil.lá.pi	‘slab’
pi.ló.si	‘brush’	ti.phén.si	‘defense’
pha.í.phi	‘pipe’	ti.lá.ma	‘drama’
pha.ún.ti	‘pound’	ti.líŋ.khi	‘drink’
pha.thî.nə	‘partner’	to.mí.no	‘domino’
pha.cá.ma	‘pajama’	tha.í.ə	‘tire’
phi.e.lo	‘pierrot’	thel.lón.thi	‘talent’
phi.lén.che	‘Firenze’	the.í.phi	‘tape’
pho.ín.thi	‘point’	the.ní.si	‘tennis’
pho.lí.no	‘pornography’	tho.má.tho	‘tomato’
phi.lán.si	‘France’	wa.í.phi	‘wife’

\* 例外

al.phí.si (\*ál.phí.si) ‘Alps’, ek.sí.pho(\*ék.sí.pho) ‘Expo’, mek.sí.kho (\*mék.sí.kho) ‘Mexico’, mi.sá.il (\*mi.sá.íl) ‘missile’, ol.lím.phík (\*ol.lím.phík) ‘Olympic’

(16) 4 音節語の例

a. パターン A (HHLL)

cím.pá.pi.we	‘Zimbabwe’	khón.thé.si.thi	‘contest’
éŋ.khá.li.ci	‘Anchorage’	khóm.phó.nən.thi	‘component’
éŋ.khá.u.mən	‘anchorwoman’	khón.só.si.əm	‘consortium’
hól.lí.u.ti	‘Hollywood’	khón.thé.i.nə	‘container’
ín.sén.thi.pi	‘incentive’	sáŋ.phá.ul.lo	‘Sao Paulo’
ín.thé.li.ə	‘interior’	sén.tí.wi.chi	‘sandwich’
íŋ.kíl.len.ti	‘England’	thól.ké.i.thi	‘tollgate’
khám.pó.ti.a	‘Cambodia’	ón.tó.u.ti	‘Underwood’

b. パターン C (LHHH)

a.sí.phí.lín	‘aspirin’	mo.tó.ní.cím	‘modernism’
e.ó.ló.pík	‘aerobics’	pa.í.ól.lín	‘violin’
he.í.cíl.nés	‘hazelnuts’	pal.lén.thá.ín	‘Valentine’
i.sí.lá.él	‘Israel’	pha.khí.sí.thán	‘Pakistan’
i.khó.nó.mík	‘economic’	phi.ló.kí.lém	‘program’
ke.lí.má.nyúm	‘germanium’	phi.lí.mí.óm	‘premium’
kho.phén.há.kén	‘Copenhagen’	phil.lá.sí.thík	‘plastic’
khí.lí.sí.chán	‘Christian’	phil.lá.thó.nyúm	‘plutonium’
khí.lí.sí.thál	‘chrysalis’	sí.thá.tí.úm	‘stadium’
khíl.lá.lí.nés	‘clarinet’	sí.nó.khíl.líŋ	‘snorkeling’
ma.kí.né.syúm	‘magnesium’	thi.lé.í.níŋ	‘training’
me.í.khí.óp	‘make-up’	ye.lú.sál.lém	‘Jerusalem’

c. パターン D (LHHL)

a.í.tí.ə	‘idea’	a.má.chú.ə	‘amateur’
a.khá.phél.la	‘a cappella’	a.mé.lí.kha	‘America’
a.khá.sí.a	‘acacia’	a.ná.ún.sə	‘announcer’
a.khá.té.mi	‘academy’	a.phí.lí.kha	‘Africa’



a.sí.phál.thi	‘asphalt’	pi.cí.ní.sì	‘business’
e.phí.só.tì	‘episode’	pha.nó.lá.ma	‘panorama’
ha.í.thé.khì	‘high-tech’	phe.lí.sí.a	‘Persia’
hel.lí.khóp.thə	‘helicopter’	phi.lá.mí.tì	‘pyramid’
i.thál.lí.a	‘Italy’	phi.lá.í.tì	‘pride’
kì.lán.phí.li	‘grand prix’	phi.ló.cék.thì	‘project’
kwa.thé.mál.la	‘Guatemala’	phi.ló.phó.ci	‘propose’
kì.lá.ún.tì	‘ground’	sì.khá.ú.thì	‘scout’
kì.lín.pél.thì	‘greenbelt’	sì.phí.lé.i	‘spray’
kha.thé.kó.li	‘category’	sì.lí.lán.kha	‘Sri Lanka’
kho.sí.mó.sì	‘cosmos’	so.mál.lí.a	‘Somalia’
khu.wé.í.thì	‘Kuwait’	so.pí.é.thì	‘Soviet’
khol.ló.lá.to	‘Colorado’	so.phí.lá.no	‘soprano’
lì.né.sán.sì	‘Renaissance’	sə.sí.phén.sì	‘suspense’
ma.í.é.mi	‘Miami’	sì.thí.lí.thì	‘street’
ma.yó.né.ci	‘mayonnaise’	sì.thé.í.khì	‘steak’
mi.sí.thó.li	‘mystery’	ta.khí.hó.sì	‘dark horse’
ne.tól.lán.tì	‘Netherland’	ti.cá.í.nə	‘designer’
ne.thí.wó.khì	‘network’	to.mí.ní.kha	‘Dominica’
no.lí.wé.i	‘Norway’	ti.lá.í.pì	‘drive’
nyu.cíl.lén.tì	‘New Zealand’	ti.lá.khyúl.la	‘Dracula’
pa.í.ló.sì	‘virus’	thì.lé.í.tì	‘trade’
pul.ká.lí.a	‘Bulgaria’	u.lú.kwá.i	‘Uruguay’
pìl.lá.ú.sì	‘blouse’	yu.né.sí.kho	‘UNESCO’

\* 例外

lo.thé.í.syən (\*lo.thé.í.syón) ‘lotation’, lo.khé.í.syən (\*lo.khé.í.syón) ‘location’, pe.tí.mín.thən (\*pe.tí.mín.thón) ‘badminton’, phe.sí.thí.pəl (\*phe.sí.thí.pól) ‘festival’, sin.té.lél.la (\*sín.té.lél.la) ‘Cinderella’, thel.lé.pí.cyən (\*thel.lé.pí.cyón) ‘television’

(17) 5 音節語の例

a. パターン A (HHLLL)

ám.sí.the.lì.tam	‘Amsterdam’	ín.tó.sì.thì.li	‘industry’
él.sál.pa.to.li	‘El Salvador’	ín.tó.ne.sì.a	‘Indonesia’
ín.thé.ne.syə.nəl	‘international’	sán.thá.khì.lo.sì	‘Santa Claus’

b. パターン C (LHHHH)

a.í.sí.khí.lím	‘ice cream’	phol.lí.é.thíl.lén	‘polyethylene’
ki.lén.tí.khé.nyón	‘Grand Canyon’		

c. パターン D (LHHHL)

a.í.síl.lén.tí	‘Iceland’	o.sí.thí.lí.a	‘Austria’
a.lí.hén.thí.na	‘Argentina’	pe.né.sú.él.la	‘Venezuela’
a.lí.pá.í.thí	‘Arbeit’	phí.lá.í.pé.si	‘privacy’
i.té.ól.ló.ki	‘ideology’	so.phí.thí.wé.ə	‘software’
khel.lí.phó.ní.a	‘California’	sí.khó.thíl.lén.tí	‘Scotland’
khíl.lá.í.én.thí	‘client’	sí.thí.lá.í.khí	‘strike’
khíl.lá.í.mák.sí	‘climax’	ta.í.á.món.tí	‘diamond’
ma.khé.tó.ní.a	‘Macedonia’	ta.khyú.mén.thó.li	‘documentary’
ma.lí.sé.í.yu	‘Marseille’	thí.lén.cí.sí.thə	‘transistor’
na.í.cí.lí.a	‘Nigeria’	u.khí.lá.í.na	‘Ukraine’

\* 例外

e.ló.thí.sí.cím (\*e.ló.thí.sí.cím) ‘eroticism’, e.ní.mé.í.syən  
 (\*e.ní.mé.í.syən) ‘animation’, i.mí.thé.í.syən (\*i.mí.thé.í.syən)  
 ‘imitation’, ik.sí.phí.lé.sí (\*ík.sí.phí.le.sí) ‘express’, pha.ún.té.í.syən  
 (\*pha.ún.té.í.syən) ‘foundation’, phal.lé.sí.thá.in (\*phal.lé.sí.thá.in)  
 ‘Palestine’

### 3.2.4. 外来語のアクセント・パターンを決める要因

3 音節以上の語に関しては、慶北方言と同様に、初頭音節と最終音節が重音節か軽音節かでアクセント・パターンが決まる。一方、2 音節語に関しては、音節構造だけでなく、分節音の情報もアクセント・パターンの決定に関わることが確認された。以下に釜山方言の外来語のアクセント・パターンを決める要因をまとめる。

#### (18) 外来語のアクセント・パターンを決める要因

- a. 音節構造：初頭音節と最終音節が重音節か軽音節かによってアクセント・パターンが決まる。
- b. 分節音の情報：2 音節語に限る。
  - 1) 初頭の帯気子音は、アクセント・パターンを A にする働きを持つ。

- 2) 最終音節の /-iŋ/, /-i/ は、アクセント・パターンを A にする働きを持つ。
- c. / $\Lambda_1\Lambda_2$ / の / $\Lambda_1$ / は、それが属する音節を重音節にしない。
- d. 挿入母音には 高いピッチが付与されない。

(19) 慶北方言と釜山方言の外来語のアクセント・パターンの比較

- a. 2 音節語
- i. 慶北方言：初頭音節と最終音節が重音節 (●◎) か軽音節 (○◎)かでアクセントが・パターンが決まる。
- ii. 釜山方言：最終音節が重音節 (◎●) か軽音節 (◎○) かでまず大きく分けられる。そして、その中でも重音節終わりの語 (◎●) は、初頭音節の音節構造だけでなく、語頭の帯気子音や語末の /-i/、 /-iŋ/ など、分節音の情報もアクセント・パターンの決定に関わる。
- b. 3 音節以上の外来語
- 両方言のアクセント・パターンの決まり方は同じである。初頭音節と最終音節が重音節か軽音節か、という音節構造だけで、アクセント・パターンがが決まる。

4. まとめ

以上、釜山方言のアクセント・パターンが、音節構造と分節音の情報から予測可能であることを示した。Kenstowicz & Sohn (2001) によると、慶尚北道方言の外来語のアクセント・パターンは、音節構造によって決まるといふ。本稿では、慶尚南道方言の 1 つである釜山方言の場合も、アクセント・パターンの決定に音節構造が重要であることを示すと共に、この方言では、2 音節語においては分節音の情報も関与するという点が異なることを明らかにした<sup>14</sup>。

今後、釜山方言において、上記の要因が固有語や漢字語など他の語彙層ではどのように働くかを考察し、釜山方言全体のアクセント・パターンの体系を明らかにしていきたい。

---

<sup>14</sup> ここでは、主に記述的な一般化を試みたが、Jun (forthcoming)では、音節構造に関して、Weight-to-Tone Principle、Default Pitch Assignment Rule、\*#HHH の 3 つの条件を仮定し、さらなる一般化を図った。

## 謝辞

本稿は、平成 16 年度、九州大学大学院に提出した筆者の修士論文の一部を、加算・修正したものである。本稿の執筆にあたり、指導教員の久保智之先生をはじめ、言語学講座の諸先生方にお礼を申し上げたい。また、2 名の匿名査読者からも貴重なコメントをいただいた。深く感謝する次第である。無論、本稿における一切の誤りは筆者の責任である。

## 参照文献：

- Jun, Ho Kyung (forthcoming) “Factors affecting accentual patterns of loanwords in Pusan Korean,” *Harvard Studies in Korean Linguistics* 11.
- Kenstowicz, Michael and Hyang-Sook Sohn (2001). Accentual adaptation in North Kyungsang Korean. In: Michael Kenstowicz (ed.) *Ken Hale, A life in language*, 239-270. Cambridge, Mass.: MIT Press.
- Kim, Chagyun (1969) “Ceonnam Pangeone Seongco (A Study of Phonemes in Ceonnam Dialect),”. *Hangul* 144: 142-171.

# **Factors affecting accentual patterns of loanwords in Pusan Korean: Segmental information and syllable structure**

Ho-Kyung Jun  
( Kyushu University )

The purpose of this paper is to investigate the factors affecting accentual patterns of loanwords in Pusan Korean, a South Kyungsang dialect.

Kenstowicz & Sohn (2001) have studied loanwords from English in the North Kyungsang dialect. They point out that accentual patterns of loanwords are determined by syllable structures. Based on their analysis, I show that syllable structure plays a crucial role in deciding accentual patterns in Pusan Korean loanwords as well. Further, I propose that segmental information like initial aspirated consonants affect accentual patterns.